

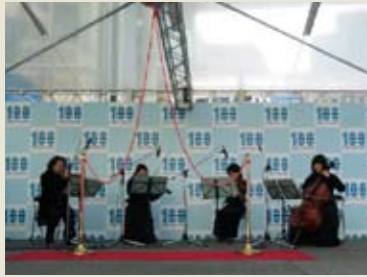
## 名古屋市下水道供用開始100周年

下水道歴史写真展オープニングセレモニーに参加しました。



名古屋市下水道100周年のセレモニーに近藤議員と参加しました。

名古屋の下水道は供用開始100年になります。写真展には100年の歴史や、現在、そして未来について、上下水道局が所有する写真を中心に展示してありました。市民の皆様は上下水道事業についてしていただき、親しみを持っていただくために「水の環コンサート」、「下水道科学館の展示物のリニューアル」、「絵画コンクール」、など様々なイベントがありました。



写真①は、今から約100年前、大正2年の上下水道工事の様子です。名古屋の下水道管の総延長は、7,700kmで名古屋から沖縄間の6倍もあります。ドバイまで行ける長さなのです。

写真②は、昭和5年に完成した名古屋市最初の下水処理場、掘留処理場の建設風景です。

下水に空気を吹き込んで、微生物の働きで下水をきれいにする方法がこの掘留処理場で行われています。「活性汚泥法」といい、日本で最初にこの方法を採用したのは名古屋だそうです。

写真③は、天白汚泥処理場です。下水処理の過程で発生する汚泥を処理するため、天白川の河口・現在の南区元柴田西町に汚泥処理場を建設しました。この汚泥処理場では、砂床の上に汚泥を敷き詰め、天日により乾燥させていました。

写真④は、天白汚泥処理場の作業風景です。乾燥した汚泥の収集作業の様子です。熊手や細耙で汚泥をかき集め、竹かごに入れて搬出していました。なお、写真でわかるとおり汚泥が敷き詰められているため、処理場周辺の方々に悪臭でご迷惑をおかけすることがあったようです。

写真⑤は、活性汚泥(肥料)を運ぶトラックです。袋詰めされた肥料を運ぶトラックの様子です。建物の中には名古屋市の市章「八」のマークの袋も見えますね。なお、汚泥から肥料を製造するこの汚泥処理場は、アメリカの科学雑誌が取材にくるほど世界に誇れる施設でした。



名古屋市上下水道局提供

## 22年度議会質問より 保育所拡大について

### 質問

3歳未満児の待機児童は516人と86.3%を占めており、その対策が強く求められています。よりスピード感を持って認可保育所の新設設備又、入所枠の拡大を緊急に進めることが大切と考えております。

このことにより雇用の拡大にもつながるとの事を強く訴えました。

### 現状

待機児童ゼロ計画の進捗状況(以下の数字は3歳未満児数)

22年度	23年度	24年度
464人	1,079人	946人
<合計> 2,489人分		

<当面の目標>平成22~25年度:3歳未満児2,400人分  
<当面の目標を上回る対策数を確保>

## 若葉寮とひばり荘 あけぼの学園について

### 質問

平成21年2月に本会議でも取り上げましたが、老朽化した乳児院・児童養護施設若葉寮とひばり荘との統合改築の問題について、子供たちが自らの手で未来を切り開くために必要な土台を築けるよう、時代に即した施設環境、養育環境をととのえるという点で早々に整備することが必要と考えます。

また、知的障害児施設あけぼの学園につきましても、一刻も早い改築設備が必要だと強く訴えました。

### 現状

施設の老朽化の解消と同時に、乳幼児からの継続した施設ケアや、小規模グループケアによる家庭的な施設機能など、入所児童の生活環境の向上を図るため、両施設の統合設備に向けた設計を行うことが決まりました。

平成24年より計画が実施されます。



## 名古屋陽子線治療センター内覧会

名古屋陽子線治療センターは名古屋市北区の「クオリティライフ21城北」にあり、H24年11月頃から外来診察開始予定です。

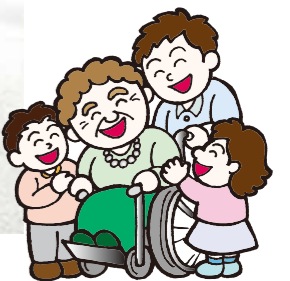


### 加速器(シンクロトロン)

陽水(水素原子核)を光速の約60%まで加速します。

他にも、360度、どの方向からでも陽子線を照射出来る「ガントリ照射室」や、横方向から陽子線を照射する「固定照射室」などがあり、視察させていただきました。

## 介護タクシーを視察させていただきました。



ご存知の方も多くいらっしゃると思いますが・・・

- 車椅子に乗ったまま乗り降り自由
- お一人でももちろん、付添の方も同乗可能
- どんな遠方でも近隣でも、送り迎え OK
- 運賃は一般タクシーと同じメーター制と時間賃(障害者割引や地域により、自治体のタクシーチケットも使用可能)
- 車椅子をお持ちでない、歩行困難の方もご利用可能  
ケガをしている方、具合の悪い妊婦さん、杖をついている方など  
詳細は福田事務所まで・・・